

平成 26 年 11 月 14 日開催 平成 26 年度第 1 回地域産業振興戦略会議 主な意見

■戦略についての意見

戦略 2 「企業誘致」

○若者がいなくなってしまう現状で、中学を卒業して高校に進学するときに、倉吉から出てしまう子供が多い。地域と倉吉市と高校がもっと企業と結びついたような事を取り組みをすべき。

戦略 4 「地域ブランド商品の開発」

○極実スイカ、プリンスメロンは年々減少をしてきており、特に心配しているのが極実スイカ。極実スイカではない他の一般スイカのレベルも上がってきており、評価も上がって極実と一般スイカとの価格差があまり出てない。市としてもテコ入れが必要ではないか。

戦略 5 「販路開拓」

○東京の県のアンテナショップは、オープンして間もないという事もあったが、農商工連携なり六次産業化で出来た商品の種類がまだまだ少ない。置いてある量も少ない。まだまだ宣伝がこれからだという様な雰囲気があった。

○東京の県のアンテナショップについて、「うちは十分他で商売出来ているからいい」と答えたところもあると聞いた。事業者がもっと鳥取に協力するという意識がどこかで生まれてきていたらまた展開が違うのではないのかなと思う。そこをフォロー、または間に入るのが行政の役割ではないか。

戦略 8 「観光資源の整備」

○コンビニをはじめお店（レンタカーなど）に、倉吉の観光エリアがわかる地図とかガイドマップを置いておくと人が動く流れになると思う。

○観光業の位置づけをきちんとしてほしい。ただ人が増えました、ではいけないはずで、業として経済的にどうだったのか。客数＝収入、雇用に繋がるというようなことがあればいいがもう少しその視点での見方が必要なのではないか。

○大人数でゆったりと食事をできる場所がない。

■戦略会議全体についての意見

（ビジョンの見直しについて）

○ビジョンを作るのが目的ではないので出来れば本当に早く作っていただいて走りながら直すという事でもいいのでどんどん進めていってほしい。